

第40回 群馬学 連続シンポジウム

関東に 「北」はあるのか

「北関東」の**成立**とその**虚実**をさぐる

2022年
2月5日(土)
13:30 ~ 16:00

第1部 講演

「北関東」の誕生 松浦 利隆 (群馬学センター 教授)
江戸人の描いた「関東」 三宅 秀和 (文学部 美学美術史学科 准教授)
上杉謙信の越山と関東東方衆 築瀬 大輔 (群馬学センター 准教授)

第2部 パネルディスカッション

『北関東』成立の画期を問う —想像し創造される地域像—
パネリスト 松浦 利隆 三宅 秀和
コーディネーター 築瀬 大輔

参加費 無料 (事前申込が必要です)

会場 群馬県立女子大学
2号館 第2・3講義室

※新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては開催方法が変更になることがあります



お問い合わせ

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1 群馬県立女子大学事務局 教務係
電話：0270-65-8511 / FAX：0270-65-9538 E-mail gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp
WEB <https://www.gpwu.ac.jp/>
ぐんま県民カレッジ連携講座

主催 群馬県立女子大学

後援 上毛新聞 群馬テレビ FM GUNMA 群馬歴史散歩の会 群馬県地域文化研究協議会

第40回 群馬学 連続シンポジウム

関東に「北」はあるのか

「北関東」の成立とその虚実をさぐる

今日一般に群馬・栃木・茨城の3県は「北関東」と呼ばれている。この場合の「北関東」は関東地方北部3県という意味であると共に、首都圏の「北」の外郭に位置することから、中心に対する周縁、先進地域に対する発展途上地域という意味も含まれている。このため、経済・産業や各種インフラ整備に当たっては、一体的な地域として政策的にとりまとめられることが多い。そういう意味において現代社会に「北関東」は確実に存在しており、地域区分として広く社会に認知されている。また、3県住人の意識や行動の一定部分を規定している可能性がある。

しかし、視点を政治・経済から生活・文化に移してみるとどうだろう。その途端「北関東」は大方の当事者（住民）から支持を失い、その存在を積極的には主張しなくなる。例えば、群馬と茨城がひとつの地域だと言われても、当事者である双方の住民は当惑するだけだろう。つまり、「北関東」なる地域概念は3県住民の生活意識とは歴史的・文化的に無関係に成立した可能性がある。では、「北関東」なる地域概念と地域区分はいつ、誰によって、どのように成立したのだろうか。そして、群馬を歴史的・文化的に「北関東」の一部と捉えることにどれ程の妥当性があるのだろうか。そもそも関東に「北」はあったのか。

本シンポジウムは自明視された「北関東」なる地域区分の虚実を歴史的・文化的に問い直すことで、「北関東」を相対化する。そして、そのことによって開けるであろう群馬学の新たな地平を展望する。

講師プロフィール

松浦 利隆 群馬県立女子大学・教授

Toshitaka MATSUURA

1957年 高崎市生まれ
筑波大学比較文化学類卒業、総合研究大学院大学文化科学研究科後期博士課程修了
日本近代史・産業考古学 博士(文学)
群馬県立高等学校教諭、県教育委員会文化財保護課、県立歴史博物館、県世界遺産推進課長等を経て2015年より現職。
著書に『近代化遺産から世界遺産へ』(上毛新聞社)、『在来技術改良の支えた近代化—富岡製糸場のパラドックスを超えて—』(岩田書院)、
群馬県世界遺産専門委員会委員、国際産業遺産保存委員会(TICCIH)日本代表。

三宅 秀和 群馬県立女子大学・准教授

Hidekazu MIYAKE

1977年 東京都生まれ
学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得退学
日本美術史 博士(哲学)。
公益財団法人永青文庫学芸員、同学芸課長、群馬県立女子大学専任講師を経て、2019年より現職。
論文に「東京富士美術館所蔵の源氏物語図屏風について —狩野光信様式の源氏絵として—」(『群馬県立女子大学紀要』41号、2020年)、「細川三斎と雪舟」(雪舟研究会編『天開圖畫』11号、2019年)、「土佐光吉宛平家繪制作関連書状の再検討 —狩野光信研究の視點から—」(『國華』1362号、2009年)など。

築瀬 大輔 群馬県立女子大学・准教授

Daisuke YANASE

1965年 伊勢崎市生まれ
國學院大学大学院文学研究科博士課程後期修了
日本中世史 博士(歴史学)
群馬県立高等学校教諭、県教育委員会文化財保護課、県立歴史博物館学芸員を経て、2018年より現職。
著書に『関東平野の中世』(単著、高志書院、2015年)、『北関東の戦国時代』(共編著、高志書院、2015年)、『中世の北関東と京都』(共編著、高志書院、2020年)、『戦国一上州の150傑—』(共著、上毛新聞社、2021年)など。
群馬県文化財保護審議会専門委員、群馬歴史資料継承ネットワーク(ぐんま史料ネット)代表。

お問い合わせ

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

群馬県立女子大学事務局教務係

TEL.0270-65-8511 FAX.0270-65-9538


E-mail : gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp WEB : <https://www.gpwu.ac.jp/>

参加者募集情報

定員 合計130名(①会場開催・オンライン開催ともに参加可能な方 80名 ②会場開催のみ参加可能な方 50名)

次表の①または②を選び、申し込みをお願いします。

※会場視聴を前提としていますが、新型コロナウイルス感染症のまん延状況によって、参加方法の変更があることをご承知おきください。

	参加方法		定員及び 申込期限	申し込み方法	開催方法(③・④)の 決定とお知らせ	当日の注意事項
	③コロナ感染が 落ち着いた	④コロナ感染が まん延している				
① インターネットが できる方	会場参加	自宅から オンライン参加 会場には 来ないでください。	先着80名 申込期限 令和4年 2月3日(木)	大学ホームページまたは下記QRコードから参加申し込みフォームにアクセスし、氏名・住所・メールアドレス等を入力して参加者登録を行ってください。 	開催方法は1月下旬の状況で判断し、ホームページで公表します。 オンライン開催の場合 「接続方法」・「参加上のルール」、及び「講演・報告資料」をメールでお知らせします。	会場参加の場合 ①受付で健康状態を確認します。 ②検温を実施します。 オンライン参加の場合 「接続方法」に従ってサインインして参加してください。
② インターネットが できない方	会場参加	学内別室でのモニター参加 会場に 来てください。	先着50名 申込期限 令和4年 2月3日(木)	電話で、「第40回群馬学連続シンポジウムに参加希望であること」、「氏名」「住所」「電話番号」を係員に伝えてください。 受付時間 平日9:00から17:00まで	開催方法は1月下旬の状況で判断し、ホームページで公表します。 別室モニター参加の場合 特に連絡はしません。会場にお越しください。	会場参加の場合 ①受付で健康状態を確認します。 ②検温を実施します。 別室モニター参加の場合 同上